

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成23年4月11日
【四半期会計期間】	第29期第3四半期(自平成22年12月1日至平成23年2月28日)
【会社名】	株式会社ウッドフレンズ
【英訳名】	WOOD FRIENDS CO.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 前田 和彦
【本店の所在の場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3503
【事務連絡者氏名】	管理部 中島 崇
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	052(249)3504
【事務連絡者氏名】	管理部 中島 崇
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第3四半期連結 累計期間	第29期 第3四半期連結 累計期間	第28期 第3四半期連結 会計期間	第29期 第3四半期連結 会計期間	第28期
会計期間	自平成21年 6月1日 至平成22年 2月28日	自平成22年 6月1日 至平成23年 2月28日	自平成21年 12月1日 至平成22年 2月28日	自平成22年 12月1日 至平成23年 2月28日	自平成21年 6月1日 至平成22年 5月31日
売上高 (千円)	21,233,483	18,124,770	5,471,138	4,994,434	29,272,574
経常利益又は 経常損失() (千円)	831,417	438,450	176,613	52,979	1,140,786
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失() (千円)	281,022	161,424	65,075	63,045	406,378
純資産額 (千円)	-	-	3,641,102	3,829,892	3,732,880
総資産額 (千円)	-	-	16,078,494	20,080,057	14,936,759
1株当たり純資産額 (円)	-	-	245,674.95	259,748.73	254,669.70
1株当たり四半期(当期) 純利益金額又は 四半期純損失金額() (円)	19,113.29	11,092.97	4,426.00	4,332.45	27,661.73
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-	-	-
自己資本比率 (%)	-	-	22.5	18.8	24.8
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	3,391,441	5,860,937	-	-	6,540,673
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	283,119	160,738	-	-	344,504
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	3,115,793	4,415,647	-	-	4,842,796
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	-	-	1,919,647	1,674,462	3,280,490
従業員数 (人)	-	-	125	142	139

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3 第28期第3四半期連結累計(会計)期間、第28期連結会計年度及び第29期第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

4 第29期第3四半期連結会計期間における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容において、重要な変更はありません。また、主要な関連会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成23年2月28日現在

従業員数(人)	142	[108]
---------	-----	-------

(注) 従業員数は就業人員であり、[]内は外数で、臨時従業員の当第3四半期連結会計期間の平均雇用人員であります。

(2) 提出会社の状況

平成23年2月28日現在

従業員数(人)	68	[49]
---------	----	------

(注) 従業員数は就業人員であり、[]内は外数で、臨時従業員の当第3四半期会計期間の平均雇用人員であります。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

当グループの生産実績及び受注実績は住宅事業について記載しております。

なお、AM事業及びその他事業は、生産及び受注の形態をとらないため、該当事項はありません。

また、第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。このため、前年同四半期比については記載しておりません。

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
住宅事業	4,347,689	
合計	4,347,689	

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結会計期間における受注実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	数量(戸)	金額(千円)	前年同四半期比(%)	数量(戸)	金額(千円)	前年同四半期比(%)
住宅事業	169	5,939,437		121	4,216,087	
合計	169	5,939,437		121	4,216,087	

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 住宅事業のうち中古不動産の販売については、事業の性質上、上記には含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	数量(戸)	金額(千円)	前年同四半期比(%)
住宅事業	110	4,516,366	
AM事業		375,862	
その他事業		102,205	
合計	110	4,994,434	

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 住宅事業の金額には中古不動産の販売分が含まれておりますが、数量には中古不動産の販売分が含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、デフレ環境が続くなか、企業収益では持ち直しの動きがみられましたが、高水準な失業率、伸び悩む個人消費といった景気の先行きに対する不透明感は払拭されないまま推移しました。

不動産業界においては、住宅関連税制、地価の下げ止まり感により、一部では市況回復の兆しが見え始め、新設住宅着工戸数は全体として緩やかな増加傾向がみられましたが、厳しい所得環境や雇用情勢等により、依然として予断を許さない状況となりました。

このような状況下、当グループの主力事業であります住宅事業では、販売活動に積極的に取り組んでまいりました。また、第3四半期連結会計期間より、既存商品の販売に加えて新規格商品の販売を開始しました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

住宅事業	販売活動を積極的に行うとともに、更なる事業期間の短縮に取り組んでまいりました。売上高は4,516百万円、営業利益は67百万円となりました。
AM(アセットマネジメント)事業	ゴルフ場の来場者が概ね計画どおりであったため、業績は堅調に推移しました。売上高は377百万円、営業利益は56百万円となりました。
その他の事業	生活関連ビジネスでは、当初計画を下回る結果となりました。売上高は118百万円、営業損失は16百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は4,994百万円(前年同期比8.7%減)、営業利益は1百万円(前年同期比99.5%減)、経常損失は52百万円(前年同期は176百万円の経常利益)、四半期純損失は63百万円(前年同期は65百万円の四半期純利益)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失が53百万円(前年同期は174百万円の税金等調整前四半期純利益)、たな卸資産の増加による支出が3,662百万円(前年同期は414百万円の収入)となったことを主な要因として3,467百万円の支出(前年同期は107百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得等により59百万円の支出(前年同期比44.3%減)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入れによる収入が借入金の返済による支出を上回ったこと等により、1,801百万円の収入(前年同期は490百万円の支出)となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は1,724百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末残高は1,674百万円(前年同期比12.8%減)となりました。

(3) 財政状態の分析

資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の取得を主な要因として、前連結会計年度と比較して5,143百万円増加し、20,080百万円となりました。

負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、たな卸資産の取得に伴う借入金の増加を主な要因として、前連結会計年度と比較して5,046百万円増加し、16,250百万円となりました。

純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として、前連結会計年度と比較して97百万円増加し、3,829百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

前四半期連結会計期間末において、計画中又は実施中の重要な設備の新設、除却等はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000
計	48,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年2月28日)	提出日現在発行数(株) (平成23年4月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	14,800	14,800	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	当社は単元株制 度は採用して おりません。
計	14,800	14,800	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成22年12月1日～ 平成23年2月28日	-	14,800	-	279,125	-	269,495

(6)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成22年11月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 248		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,552	14,552	
単元未満株式			
発行済株式総数	14,800		
総株主の議決権		14,552	

【自己株式等】

平成23年2月28日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総 数に対する所 有株式の割合 (%)
株式会社ウッドフレンズ	名古屋市中区栄四丁目5番3号	248	-	248	1.67
計	-	248	-	248	1.67

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成23年 1月	2月
最高(円)	180,000	230,000	197,900	190,000	189,900	171,000	208,000	224,000	240,000
最低(円)	164,300	155,600	179,100	182,600	149,000	145,000	168,000	198,500	211,900

(注) 最高・最低株価は、平成22年10月12日より大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)におけるものであり、それ以前は大阪証券取引所JASDAQにおけるものであります。

3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	住宅事業部長	取締役	管理部長	笹原 利明	平成22年10月1日

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づき、同規則及び「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)により作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間(平成21年12月1日から平成22年2月28日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成21年6月1日から平成22年2月28日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成22年12月1日から平成23年2月28日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成22年6月1日から平成23年2月28日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間(平成21年12月1日から平成22年2月28日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成21年6月1日から平成22年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表については、あずさ監査法人による四半期レビューを受け、また、当第3四半期連結会計期間(平成22年12月1日から平成23年2月28日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成22年6月1日から平成23年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表については、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、あずさ監査法人は、監査法人の種類の変更により、平成22年7月1日をもって有限責任 あずさ監査法人となっております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3 1,711,962	3 3,317,990
完成工事未収入金	40,372	30,064
売掛金	42,510	59,384
販売用不動産	3 6,377,152	3 4,326,953
仕掛販売用不動産	3 6,322,705	3 2,852,179
商品	7,479	4,163
未成工事支出金	3 1,709,878	3 691,546
原材料	22,907	22,111
その他	748,486	494,314
流動資産合計	16,983,454	11,798,710
固定資産		
有形固定資産	1, 3 2,683,778	1, 3 2,767,521
無形固定資産	74,411	85,882
投資その他の資産	2 338,413	2 284,644
固定資産合計	3,096,603	3,138,048
資産合計	20,080,057	14,936,759
負債の部		
流動負債		
工事未払金	3 1,939,670	3 1,092,948
買掛金	3 102,520	3 95,623
1年内償還予定の社債	150,000	284,000
短期借入金	3 9,658,885	3 3,852,645
1年内返済予定の長期借入金	3 673,110	3 1,866,610
未払法人税等	119,933	438,473
賞与引当金	48,327	4,685
完成工事補償引当金	89,090	85,020
その他	696,230	747,317
流動負債合計	13,477,767	8,467,322
固定負債		
社債	660,000	160,000
長期借入金	3 1,431,624	3 1,883,082
退職給付引当金	6,212	5,617
役員退職慰労引当金	104,173	99,300
資産除去債務	5,613	-
その他	564,774	588,557
固定負債合計	2,772,397	2,736,556
負債合計	16,250,165	11,203,879

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	269,495	269,495
利益剰余金	3,273,307	3,199,194
自己株式	40,454	40,454
株主資本合計	3,781,472	3,707,359
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,608	1,405
評価・換算差額等合計	1,608	1,405
少数株主持分	50,028	26,926
純資産合計	3,829,892	3,732,880
負債純資産合計	20,080,057	14,936,759

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
売上高	21,233,483	18,124,770
売上原価	18,579,027	15,560,886
売上総利益	2,654,456	2,563,883
販売費及び一般管理費	₁ 1,597,783	₁ 1,947,201
営業利益	1,056,672	616,682
営業外収益		
受取利息	189	1,189
受取手数料	10,217	10,708
違約金収入	4,237	8,958
その他	9,975	9,898
営業外収益合計	24,619	30,755
営業外費用		
支払利息	177,989	168,186
社債発行費	-	8,627
その他	71,885	32,173
営業外費用合計	249,874	208,987
経常利益	831,417	438,450
特別損失		
固定資産除却損	₂ 10,499	₂ 2,116
減損損失	172,513	4,485
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	852
特別損失合計	183,012	7,455
税金等調整前四半期純利益	648,404	430,995
法人税等	347,689	246,468
少数株主損益調整前四半期純利益	-	184,527
少数株主利益	19,691	23,102
四半期純利益	281,022	161,424

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
売上高	5,471,138	4,994,434
売上原価	4,687,491	4,364,301
売上総利益	783,646	630,132
販売費及び一般管理費	¹ 540,844	¹ 628,979
営業利益	242,801	1,153
営業外収益		
受取利息	70	88
受取手数料	3,216	2,518
違約金収入	2,200	5,181
その他	4,666	4,134
営業外収益合計	10,153	11,923
営業外費用		
支払利息	51,778	60,213
その他	24,563	5,843
営業外費用合計	76,341	66,056
経常利益又は経常損失()	176,613	52,979
特別損失		
固定資産除却損	² 2,417	² 394
減損損失	-	260
特別損失合計	2,417	654
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	174,195	53,633
法人税等	105,304	2,707
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	56,341
少数株主利益	3,815	6,704
四半期純利益又は四半期純損失()	65,075	63,045

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	648,404	430,995
減価償却費	206,337	187,272
のれん償却額	19,266	19,266
減損損失	172,513	4,485
役員賞与引当金の増減額(は減少)	-	26,000
受取利息及び受取配当金	1,103	1,663
支払利息	177,989	168,186
売上債権の増減額(は増加)	14,212	6,566
たな卸資産の増減額(は増加)	2,781,825	6,543,166
仕入債務の増減額(は減少)	313,448	853,619
その他	142,412	173,285
小計	3,848,409	5,073,723
利息及び配当金の受取額	1,103	1,663
利息の支払額	179,248	180,801
法人税等の支払額	278,823	608,075
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,391,441	5,860,937
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	206,577	89,993
その他	76,542	70,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	283,119	160,738
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8,177,632	15,198,650
短期借入金の返済による支出	8,818,302	9,392,410
長期借入れによる収入	722,568	220,000
長期借入金の返済による支出	3,146,787	1,864,957
社債の発行による収入	-	591,372
社債の償還による支出	14,000	234,000
リース債務の返済による支出	11,936	15,683
配当金の支払額	24,966	87,323
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,115,793	4,415,647
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	7,471	1,606,027
現金及び現金同等物の期首残高	1,927,118	3,280,490
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,919,647	1,674,462

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
1 会計処理基準に関する事項の変更	(1) 資産除去債務に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。 この変更により損益に与える影響は軽微であります。

【表示方法の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
(四半期連結損益計算書)	
1 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。	
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)	
1 前第3四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「役員賞与引当金の増減額」(前第3四半期連結累計期間 2,000千円)は、金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間において区分掲記することとしました。	

	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
(四半期連結損益計算書)	
1 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失()」の科目で表示しております。	

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
1 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。
2 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
1 税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末 (平成22年5月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 768,671千円	1 有形固定資産の減価償却累計額 609,254千円
2 貸倒引当金直接控除額 投資その他の資産 2,000千円	2 貸倒引当金直接控除額 投資その他の資産 2,000千円
3 担保に供している資産及びこれに対応する債務	3 担保に供している資産及びこれに対応する債務
(1) 担保に供している資産	(1) 担保に供している資産
現金及び預金 37,500千円	現金及び預金 37,500千円
販売用不動産 5,703,777千円	販売用不動産 3,233,158千円
仕掛販売用不動産 5,401,881千円	仕掛販売用不動産 2,743,120千円
未成工事支出金 1,035,361千円	未成工事支出金 610,216千円
有形固定資産 1,544,900千円	有形固定資産 1,591,460千円
合計 13,723,420千円	合計 8,215,456千円
(2) 対応する債務	(2) 対応する債務
工事未払金 9,175千円	工事未払金 60,499千円
買掛金 38,176千円	買掛金 2,548千円
短期借入金 9,490,550千円	短期借入金 3,702,645千円
1年内返済予定の長期借入金 551,166千円	1年内返済予定の長期借入金 1,744,666千円
長期借入金 1,095,000千円	長期借入金 1,455,000千円
合計 11,184,068千円	合計 6,965,359千円
4 保証債務 販売顧客の金融機関からの借入金30,000千円に対し 債務保証を行っております。	4 保証債務 販売顧客の金融機関からの借入金309,700千円に対 し債務保証を行っております。

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
給料手当 421,206千円	給料手当 478,248千円
賞与引当金繰入額 37,348千円	賞与引当金繰入額 42,533千円
広告宣伝費 256,141千円	広告宣伝費 387,513千円
販売手数料 211,063千円	販売手数料 217,491千円
完成工事補償引当金繰入額 30,862千円	完成工事補償引当金繰入額 27,609千円
2 固定資産除却損の内訳	2 固定資産除却損の内訳
建物 7,192千円	構築物 394千円
工具器具備品 485千円	車両運搬具 247千円
撤去費用 2,821千円	ソフトウェア 1,475千円
合計 10,499千円	合計 2,116千円

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
給料手当 131,435千円	給料手当 150,975千円
賞与引当金繰入額 23,440千円	賞与引当金繰入額 21,714千円
広告宣伝費 96,423千円	広告宣伝費 125,072千円
販売手数料 60,006千円	販売手数料 55,662千円
完成工事補償引当金繰入額 8,210千円	完成工事補償引当金繰入額 7,745千円
2 固定資産除却損の内訳	2 固定資産除却損の内訳
建物 1,459千円	構築物 394千円
工具器具備品 485千円	合計 394千円
撤去費用 472千円	
合計 2,417千円	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年2月28日現在)	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年2月28日現在)
現金及び預金勘定 1,957,147千円	現金及び預金勘定 1,711,962千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 37,500千円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 37,500千円
現金及び現金同等物 <u>1,919,647千円</u>	現金及び現金同等物 <u>1,674,462千円</u>

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年2月28日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

1 発行済株式の種類及び総数

普通株式 14,800株

2 自己株式の種類及び株式数

普通株式 248株

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年8月26日 定時株主総会	普通株式	87,312	6,000	平成22年 5月31日	平成22年 8月27日	利益剰余金

5 株主資本金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年12月1日至平成22年2月28日)

	住宅事業 (千円)	都市事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,839,987	631,151	5,471,138	-	5,471,138
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	39	8,487	8,526	(8,526)	-
計	4,840,026	639,639	5,479,665	(8,526)	5,471,138
営業利益	306,572	44,766	351,339	(108,537)	242,801

前第3四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成22年2月28日)

	住宅事業 (千円)	都市事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	15,697,008	5,536,474	21,233,483	-	21,233,483
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	635	27,368	28,003	(28,003)	-
計	15,697,643	5,563,843	21,261,486	(28,003)	21,233,483
営業利益	867,459	505,439	1,372,899	(316,226)	1,056,672

(注) 1 事業の区分は内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な商品

- (1) 住宅事業 戸建分譲住宅の企画・設計・施工・販売、注文住宅の設計・施工、戸建住宅用地の販売、中古不動産の加工・販売
- (2) 都市事業 収益型不動産の企画・販売、収益型不動産の賃貸運営、収益物件用地の販売、ゴルフ場サービスの提供、生活関連サービスの提供

【所在地別セグメント情報】

在外子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

海外売上高がないため該当事項はありません。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当グループの報告セグメントは、当グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当グループは、原則として商品・サービス別に区分された事業部及び連結子会社から構成されており、事業展開を行っております。

したがって、当グループは事業部及び連結子会社を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「住宅事業」及び「AM(アセットマネジメント)事業」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な事業内容は以下のとおりであります。

住宅事業	戸建分譲住宅の企画・設計・施工・販売 戸建住宅用地の販売 注文住宅の設計・施工 中古不動産の加工・販売
AM事業	ゴルフ場施設の運営受託

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

	住宅事業 (千円)	AM事業 (千円)	その他の 事業 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	16,601,400	1,135,066	388,302	18,124,770	-	18,124,770
セグメント間の内部売上高 又は振替高	465	1,949	48,954	51,368	51,368	-
計	16,601,865	1,137,015	437,257	18,176,139	51,368	18,124,770
セグメント利益 又はセグメント損失()	801,340	190,699	59,823	932,216	315,534	616,682

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額 315,534千円には、セグメント間取引消去21,218千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 336,753千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自平成22年12月1日至平成23年2月28日)

	住宅事業 (千円)	A M事業 (千円)	その他の 事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
売上高						
外部顧客への売上高	4,516,366	375,862	102,205	4,994,434	-	4,994,434
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	1,261	16,183	17,445	17,445	-
計	4,516,366	377,124	118,389	5,011,879	17,445	4,994,434
セグメント利益 又はセグメント損失()	67,521	56,592	16,332	107,782	106,629	1,153

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、収益不動産の開発・賃貸運営、生活関連ビジネス等を行っております。

2 セグメント利益の調整額 106,629千円には、セグメント間取引消去7,287千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 113,916千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(金融商品関係)

金融商品は、事業の運営において重要なものでなく、かつ、四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引を利用していないため該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(賃貸等不動産関係)

賃貸等不動産の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末 (平成22年5月31日)
1株当たり純資産額 259,748.73円	1株当たり純資産額 254,669.70円

2. 1株当たり四半期純利益金額又は純損失金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額 19,113.29円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 11,092.97円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
四半期純利益(千円)	281,022	161,424
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	281,022	161,424
期中平均株式数(株)	14,703	14,552

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額 4,426.00円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額() 4,332.45円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	65,075	63,045
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は 四半期純損失()(千円)	65,075	63,045
期中平均株式数(株)	14,703	14,552

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年4月13日

株式会社ウッドフレンズ
取締役会 御中

あずさ監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 岩崎 宏一

指定社員
業務執行社員 公認会計士 楠元 宏

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ウッドフレンズの平成21年6月1日から平成22年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年12月1日から平成22年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年6月1日から平成22年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ウッドフレンズ及び連結子会社の平成22年2月28日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年4月11日

株式会社ウッドフレンズ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 宮本 正 司

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 楠 元 宏

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ウッドフレンズの平成22年6月1日から平成23年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年12月1日から平成23年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年6月1日から平成23年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ウッドフレンズ及び連結子会社の平成23年2月28日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。